



川崎市議会議員

本間 賢次郎 ケンジロウ

市政レポート No. 54 (令和4年6月号)

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17

TEL044-742-8072

FAX044-211-1081

6月のご挨拶

気候が安定しない5月でしたが、これからは雨期を迎えますので、お身体にはますますお気をつけてお過ごしください。

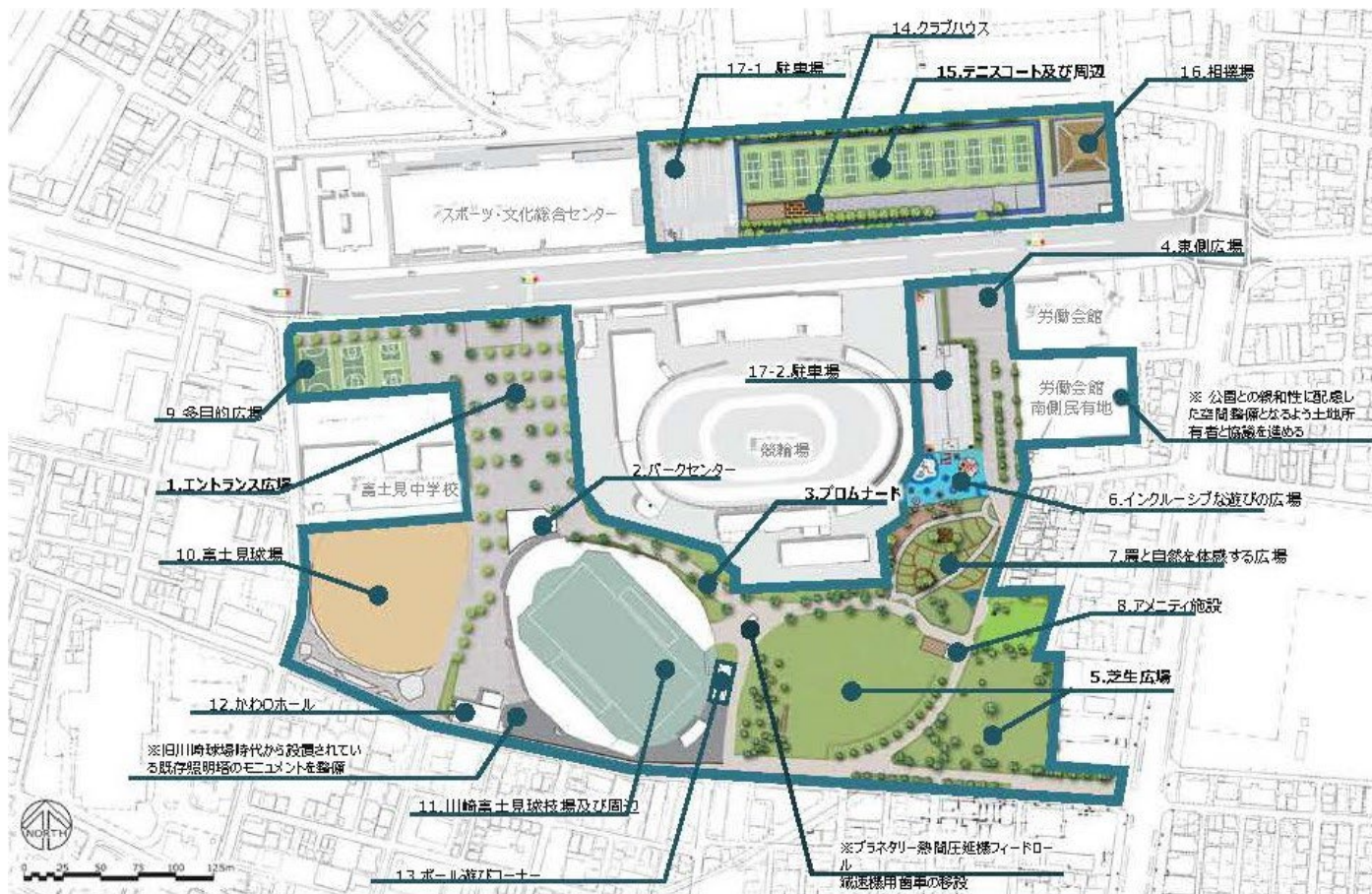
川崎市議会は今年の第3回定例会（6月議会）を迎え、本会議、常任委員会それぞれにて活発な議論を行っています。今後とも市民に最も身近な議会・議員としての役目を果たすよう努めて参ります。



富士見周辺地区の再編整備について 緑と憩い、学びや活気あふれる地区の創造に向けて

川崎市では富士見周辺地区の課題解決に向けた「富士見周辺地区整備基本計画」を平成20年にとりまとめ、以来、富士見公園や周辺施設の再整備等について議会でも活発な議論を重ねています。そして、この間には旧・川崎市体育館を建て替え、カルッツかわさきが開館し、教育文化会館の老朽化対策と労働会館（サンピアンかわさき）との再編整備に向けた市民館機能のあり方について、市制100周年に合わせた全国都市緑化フェアの誘致など、さまざまな取り組み、検討課題に臨んでいます。

まず、富士見公園の再編整備については、昨年11月～12月にかけて「富士見公園再編整備基本計画」の策定に伴うパブリックコメントを実施し、富士見公園の将来像を示しました。そこでは、現在の有料駐車場をカルッツかわさき横と労働会館前へ分散させ、公園の玄関口として樹木を増やし、来訪者がくつろげ、イベントや交流の場となる多目的なエントランスゾーンとすることや市民広場を現在の土面を芝生化すること、回遊性のある空間の創出、富士見中学校との連携による市民の文化活動の拠点化を目指すこと、スポーツ機能の充実としてテニスコートを12面確保すること、クラブハウスの設置など多くのポイントが挙げられました。



↑施設の想定配置図

出典元：富士見公園再編整備基本計画—概要版—

緑化推進は歓迎するものですが、現在の市民広場では老若男女問わず、さまざまなスポーツが行われており、全面芝生化によって実施できる競技・スポーツが限定される可能性があります。私は現在の利用団体等への丁寧なヒアリング、説明を求めています。

また、教育文化会館が担ってきた市民館機能を労働会館へ移すことについては、大規模な改修によって進めることとし、「(仮称)川崎市民館・労働会館 管理運営計画(案)」が先月の総務委員会・文教委員会にそれぞれ示され議論を行いました。市民館機能と教育施設が労働関係施設と合併する例は少なく、これまでもさまざまな角度から議論を行って参りました。私はこれまで、教育文化会館の6階にある大会議室での利用状況を基に社交ダンスなどの運動が可能なスペース、使い勝手の良い場所の確保や市内市民館では認められないアルコールを含む飲食が可能な労働会館ならではの特徴の維持などを求めてきました。そして、教育文化会館・労働会館双方の現在の利用者のニーズの調査はこれからも求められると感じています。

さらに、市制100周年に合わせ誘致を行った「全国都市緑化フェア」のメイン会場(式典会場)となることを踏まえ、皇族のご出席される花と緑の祭典として最大の行事に相応しい景観や付加価値の創造が必要であり、後世にその文化・哲学を残すためにもバラバラにある各計画をより磨き上げ、当エリアの一体となったデザインの重要性を引き続き訴えて参ります。